

日本獣医師会雑誌が電子化されます ～そのため、会員のメールアドレスを収集します～

事 務 局

【日本獣医師会雑誌】

日本獣医師会雑誌（日獣会誌）は、日本獣医師会の前団体である大日本獣医師会が明治18年に大日本獣医会誌を発行して以来、時代の変遷とともに形を変えながら現在に至っています。

これまで、獣医学術の専門技術・知識等の普及・啓発や獣医学術・獣医事情の提供、獣医師専門職をはじめ広く獣医療従事者の人材養成を担う内容を取りまとめ作成し、専門職獣医師をはじめ、国内外関係者への獣医学術・獣医事情提供活動として日獣会誌を毎月定期的に発行しています。



【電子化の流れ】

平成28年4月からは日獣会誌への論文投稿について、「Scholar One」（電子投稿・審査システム）を導入し、より利便性の高い物とし電子化を推進しています。

また、日獣会誌のバックナンバーについてもウェブサイト上に掲載するなど、利用しやすいよう改良を重ねてきました。

【日獣会誌の電子化】

これまで日獣会誌は紙に印刷した冊子として発行を続けてきましたが、この度、近年の印刷媒体の電子書籍化への大きな流れの中、令和8年1月からの電子化の推進に向けて準備をしています。

【電子化の利点】

1 いつでも、どこでも読める

パソコンやタブレット、スマートフォンなどの幅広いデバイスで簡単に閲覧できます。

2 紙のように読みやすい。

自分の見やすい大きさに、紙面を拡大縮小できます。実際に紙面と同じ見目で、ページをめくる感覚で使用できます。

3 読みたいところをすぐに探せる

キーワード検索機能で、目的のページや内容にすぐにアクセスできます。

【電子化後の対応】

①毎月15日前後に会員構成獣医師の登録されたメールアドレスに日獣会誌の発行情報を発信します。

②構成獣医師の皆様がそこに記載されている閲覧URLをクリックするとログイン画面に移行します。

③画面上に各自個別に割り当てられているIDとパスワードを入力するとビューアー画面での閲覧が可能となります。

ビューアー画面では過去2年分のバックナンバー

ーについて閲覧可能となります。

なお、紙媒体の冊子は、令和 11 年以降に有料化される予定となっており、購読料は未定となっています。

【メールアドレスの収集】

来年 1 月に向けて、青森県獣医師会では各支部獣医師会を通じて、メールアドレスの収集を行うこととしております。

会員の皆様には、日獣会誌の電子化に対応するため、是非ともメールアドレスの登録をお願いします。

なお、公務員や団体、会社にお勤めの会員については、各職場から個人メールアドレスが付与されている場合があります。しかし、付与の目的はあくまでも業務に使用するためのものであり、内容等によっては公文書等の適応を受ける場合があります。また、退職をされた場合、そのメールアドレスが使用できなくなり再手続きが必要となります。

そのため、今回の収集については、あくまでの**個人のパソコンやタブレット、スマートフォンなどのメールアドレスが対象**となりますので、ご協力をお願いします。

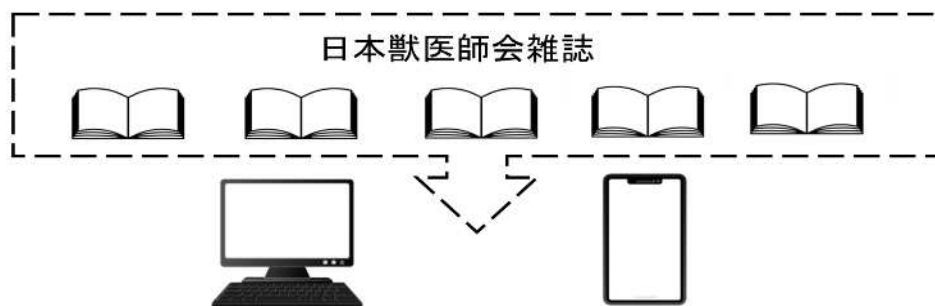
【メールアドレスの管理】

本会は支部を通じて会員の個人メールアドレスを収集します。

取得したメールアドレスについては、日獣会誌の電子化への対応のため公益社団法人日本獣医師会と共有させていただきます。また、本会又は本会支部と会員との連絡のため使用します。

本会では、メールアドレスなどの個人情報を正確かつ最新の内容に保つよう努め、情報流失に注意し対処しています。

いつでも、どこでも、読みやすく、検索も可能



パソコンやタブレット、スマートフォンで閲覧可能。
専用アプリは不要です。